

令和5年度

小 学 校

(解答はすべて解答用紙に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、
試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。

同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号	—	—	—	氏 名	
----------	---	---	---	--------	--

〔問一〕(一) 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。なお、段落のはじめの①は、形式段落の番号を示すために、出題の便宜上つけ加えた。

(鹿毛雅治「モチベーションの心理学」「やる気」と「意欲」のメカニズム)

① 線部 a、b、c、d について、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。また、カタカナは漢字に直し、楷書で書きなさい。

〔a ク b ジュウナン c ノゾ d 一見〕

② 線部「快適な心理状態」とあるが、同じ意味を表すものとして、本文から十字の言葉を書き抜きなさい。

③ 筆者の論の展開に従って段落を分けたとき、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- イ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- ウ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
- エ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

④ 本文中の空欄 A、B に当てはまる最も適切な言葉を、次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 〔ア 団体 イ 環境 ウ 要求 エ 意図〕

表 教科の目標

小学校			
「学びに向かう力、人間性等」	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、 C を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
学年の目標			
	(小)第1学年及び第2学年	(小)第3学年及び第4学年	(小)第5学年及び第6学年
「学びに向かう力、人間性等」	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、 D 国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、 E 国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、 F 国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

えなさい。

D Fに入る言葉を次のあ〜かからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(二) 次の表は「小学校学習指導要領解説 国語編」(平成二十九年七月)付録4「教科の目標、各学年の目標及び内容の系統表(小・中学校国語科)」で、「教科の目標」および「学年の目標」のうち「学びに向かう力、人間性等」について示されたものである。表の中のCに入る言葉を漢字四字で書きなさい。また、

- あ 幅広く読書をし、
- い 読書を生活に役立て、
- う 進んで読書をし、
- え 読書を通して自己を向上させ、
- お 楽しんで読書をし、
- か 日常的に読書に親しみ、

(小 3)

【問2】 次の問いに答えなさい。

(1) 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

電力には、aさまざまな発電方法がある。資源が少ない日本では、太陽光、風力などの再生可能エネルギーも活用し発電している。限りある資源を活用し、世界の国々と協力して環境に配慮していくことが大切である。

- ① 下線部 a にかかわって、資料1のX～Zには、石炭、原子力、水力のいずれかが当てはまる。X～Zに当てはまるものをそれぞれ書きなさい。
- ② 資料1から読み取れることとして適切なものを、次のア～エから2つ選び、記号を書きなさい。

資料1 日本の発電電力量の推移

ア 総発電電力量が最も多いのは2019年である。
 イ 2010年は、総発電電力量が10000億kWhを超えた。
 ウ 2019年の総発電電力量は、1970年と比べて6倍以上である。
 エ 1980年と2015年の総発電電力量にしろるLNGの発電電力量の割合を比べると、2015年の方が高い。

(2) 次の文を読んで、各問いに答えなさい。

(「エネルギー白書2021」より作成)

江戸幕府をたおして成立した新政府は、欧米諸国に対抗するため、富国強兵を目指した。「強兵」を実現するため、徴兵令による軍隊をつくり出すとともに、「富国」を実現するため、近代産業の保護・育成に力を注ぐ(あ)政策を進めた。また、近代化を目指す政策を進めるうえで、欧米の文化も盛んに取り入れられ、都市を中心に伝統的な生活が変化し始めた。この新しい風潮は(い)と呼ばれた。一方、幕府から引き継いだ、b不平等条約の改正が大きな課題であった。

- ① (あ)、(い)に当てはまる最も適切な語句を、次のア～エからそれぞれ1つ選び、記号を書きなさい。
 [ア 尊王攘夷 イ 文明開化 ウ 版籍奉還 エ 殖産興業]
- ② 下線部 b にかかわって、次のア～エの出来事を、年代の古い順に並べ替え、左から順に記号を書きなさい。
 [ア 鹿鳴館を建設した。 イ 関税自主権が完全に回復した。
 ウ 岩倉使節団を欧米諸国へ派遣した。 エ 領事裁判権の撤廃が実現した。]

(3) 次の日本国憲法の条文を読んで、各問いに答えなさい。

① 次の(う)、(え)に当てはまる語句を、日本国憲法の条文に即してそれぞれ5字で書きなさい。

第11条 国民は、すべての(う)の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する(う)は、⁽¹⁾侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。

第12条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に(え)のためにこれを利用する責任を負ふ。⁽²⁾

② 日本国憲法が定める国民の義務を次のア～オから3つ選び、記号を書きなさい。

[ア 納税 イ 投票 ウ 子どもに普通教育を受けさせる エ 勤労 オ 貯蓄]

(4) 「小学校学習指導要領」(平成29年告示)第2章 第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容 に即して、(お)～(き)に当てはまる適切な語句を、それぞれ書きなさい。

【第4学年】

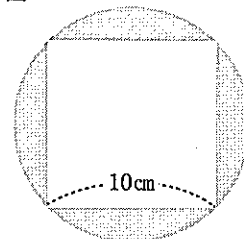
1 目標
(略)

- (1) 自分たちの(お)の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の(か)と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) (略)
- (3) 社会的事象について、(き)に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

〔問3〕 次の問いに答えなさい。

- (1) 太郎さんの家から学校までは1800mある。太郎さんは、学校から家に向かって分速80mで、弟は、家から学校に向かって分速70mで、同時に出発した。太郎さんと弟が出会うのは何分後か求めなさい。ただし、太郎さんと弟の進む速さは、それぞれ一定であり、太郎さんと弟は同じ道を通るものとする。

図1



- (2) 図1のように、円に内接する1辺が10cmの正方形がある。このとき色をぬった部分の面積を求めなさい。ただし、円周率は π を用いること。

- (3) 関数 $y = 3x^2$ について述べた文として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

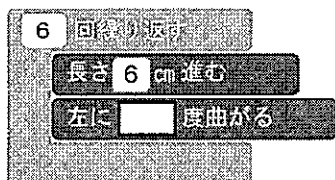
- | | |
|---|---|
| ア | x の値が1ずつ増加すると、 y の値は3ずつ増加する。 |
| イ | $x \leq 0$ のとき、 x の値が増加すると、 y の値は減少する。 |
| ウ | グラフは x 軸について対称である。 |
| エ | x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ のとき、 y の変域は $3 \leq y \leq 12$ である。 |

- (4) ある算数のテスト(100点満点)で、児童35人のテストの結果は平均点がちょうど60点であった。このとき、このテストの結果について必ずいえるものを、次のア～オからすべて選び、記号を書きなさい。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| ア | 35人の中に60点をとった児童が少なくとも1人いる。 |
| イ | 35人の中で、60点をとった児童の数が一番多い。 |
| ウ | 35人の点数を合計すると、2100点になる。 |
| エ | 35人の中で、順位がちょうど真ん中の児童の点数は60点である。 |
| オ | 35人の中で、60点以上をとった児童は18人以上いるとは限らない。 |

- (5) コンピュータを使って1辺が6cmの正六角形をかくために、次のようなプログラムを作成した。このとき、 に当てはまる数を書きなさい。

〈1辺が6cmの正六角形をかくためのプログラム〉



(小 5)

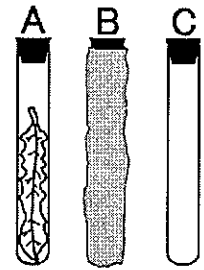
〔問4〕 次の問いに答えなさい。

(1) 光合成のはたらきについて調べるため、次の i～iii の手順で実験を行った。

実験

- i 図1のように、3本の試験管A～Cを用意し、AとBに実験の直前に摘み取ったふ入りではないタンポポの葉を入れた。Cには、何も入れなかった。
- ii 試験管A～Cにストローで息をふきこみ、ゴム栓でふたをした。図1のように試験管Bにはアルミニウムはくを巻き、光が当たらないようにした。
- iii 3本の試験管に30分間、光を十分に当てた後、それぞれの試験管に石灰水を少し入れ、ゴム栓をしてよくふった。

図1

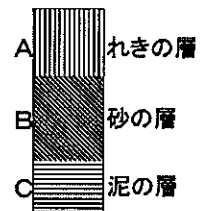


- ① 石灰水が白くにごらなかったものはA～Cのうちどれか、最も適するものを1つ選び、記号を書きなさい。
- ② この実験の結果からわかることは次のア～エのうちどれか、最も適するものを1つ選び、記号を書きなさい。

- ア 光合成は葉緑体で行われ、デンプンがつけられていること。
- イ 光が当たっている植物は、呼吸をしないこと。
- ウ 植物も呼吸を行い、酸素を取り入れて二酸化炭素を出していること。
- エ 光が当たって植物の葉が光合成を行うとき、二酸化炭素が使われること。

(2) 図2は、あるがけの地層の重なりを模式的に表した柱状図である。なお、このがけでは地層の逆転はないことが確認されている。

図2



- ① この地層は、海や湖の底等で堆積した後に、大地がもち上がったため、地上で見られるようになったと考えられている。大地がもち上がることを何というか、漢字で書きなさい。
- ② 図2で、最も古い時代に堆積したと考えられる層はA～Cのうちどれか、最も適するものを1つ選び、記号を書きなさい。

(3) 表は、4種類の気体A～Dと空気の性質をまとめたものである。A～Dは、水素、アンモニア、二酸化炭素、酸素のいずれかである。

表

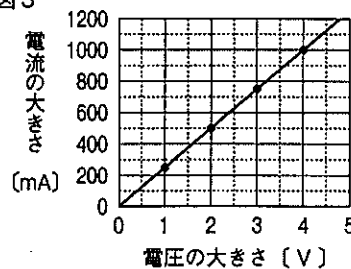
気体	水へのとけ方	空気を1としたときの同体積での質量の比
A	とげにくい	1.11
B	とげにくい	0.07
C	非常にとげやすい	0.60
D	少しとげる	1.53
空気	—	1.00

- ① A～Dのうち、水上置換法で集めることができる気体をすべて選び、記号を書きなさい。
- ② Bの気体を発生させるために必要な物質の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

- ア うすい塩酸と石灰石 イ 塩化アンモニウムと水酸化カルシウム
- ウ うすい塩酸と亜鉛 エ うすい過酸化水素水と二酸化マンガ

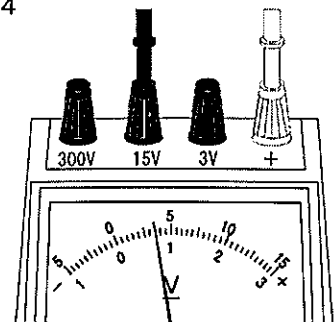
(4) 図3は、ある電熱線に加えた電圧と流れる電流の関係を調べた結果を表すグラフである。

図3



- ① 電熱線の抵抗は何Ωか、求めなさい。
- ② 電圧計が図4の値を示したとき、この電熱線を通る電流は何mAか、求めなさい。

図4



〔問5〕 次の問いに答えなさい。

下の楽譜は「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第6節 音楽 に示された、共通教材「かたつむり」の一部である。

〔注意：声に出して歌ったり、音を立てて拍子をとったりしないこと〕

♪ = 88~96

で ん で ん む し む し か た つ む り お ま え の あ た ま は

ど こ に あ る あ た ま だ せ

- (1) Aの記号の名前を書きなさい。
- (2) この曲の調性を日本語で書きなさい。また、その調を「主音」という語を使って説明しなさい。
- (3) 楽譜中の **B** に当てはまる正しい音符を書きなさい。
- (4) Cの休符の名前を書きなさい。
- (5) 楽譜中の **D** に当てはまる正しい歌詞を、ひらがなで書きなさい。
- (6) 楽譜中のア、イの音をソプラノリコーダー（バロック式）で演奏する際の正しい運指を、次のあ～おから1つずつ選び、それぞれ記号を書きなさい。

あ い う え お

○…開ける
●…閉じる

(小 7)

【問6】 次の問いに答えなさい。

- (1) 小学校第3学年において、竹を使って自分の箸をつくる題材を構想した。小学校学習指導要領を読み、指導する内容を明確にした。次の(あ)と(い)に当てはまる語句を、小学校学習指導要領(平成29年3月) 第2章 第7節 図画工作 に即して、書きなさい。

A表現(2)

イ 絵や立体、(あ)に表す活動を通して、材料や(い)を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

- (2) 箸をつくる際に用いる切り出し小刀について、次の問いに答えなさい。

① この切り出し小刀は、右利き用か左利き用かどちらか、
解答用紙に○をしなさい。

② 切り出し小刀の安全な使い方について、(う)～(き)に当てはまる適切な語句を語群から選び、記号で書きなさい。

- ・両手でさやと柄を持ち、親指で押し合うようにして(う)抜く。
- ・竹を持った手の親指を刃の(え)のところに当てて、(お)を押すようにして削る。
- ・竹が硬かった場合は、作業台に竹の先を当ててしっかり(か)し、刃を前に押し出して削る。
- ・使用後は、削りくずや(き)をよく拭き取ってからしまう。

語群：

a	固定	b	奥	c	素早く	d	親指	e	人差し指
f	ゆっくり	g	水分	h	背	i	先		

【問7】 次の問いに答えなさい。

- (1) 「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引(三訂版)」(平成26年3月 文部科学省) 第4章水泳指導と安全 第2節 水泳の安全指導に即して、(a)、(b)に当てはまる語句を書きなさい。

ボディシステムは、二人一組をつくり、互いに相手の安全を確かめさせる方法で、(a)のみならず、(b)効果を高めるための手段としても効果的です。

- (2) 心の健康について、「小学校学習指導要領解説 体育編」(平成29年7月)第2章 第2節 [第5学年及び第6学年] 2 内容 G 保健 に即して、(c)、(d)に当てはまる語句を書きなさい。

心の健康については、心は(c)すること、及び心と体には密接な関係があることについて理解できるようにする必要があり。また、不安や悩みへの対処にはいろいろな方法があることを理解できるようにするとともに、不安や悩みを(d)するための対処の方法を行うことができるようにする必要があり。

【問8】 次の各問いに答えなさい。

「小学校学習指導要領」(平成29年3月)第2章 第8節 家庭 に即して、次の(あ)～(え)に当てはまる語句を書きなさい。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

1 2 (略)

3 実習の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 施設・設備の安全管理に配慮し、学習環境を整備するとともに、(あ)や用具、機械などの取扱いに注意して事故防止の指導を徹底すること。
- (2) 服装を整え、(い)に留意して用具の手入れや保管を適切に行うこと。
- (3) 調理に用いる食品については、(う)の魚や肉は扱わないなど、安全・(い)に留意すること。また、(え)についても配慮すること。

【問9】 次の問いに答えなさい。

- (1) 「小学校学習指導要領」(平成29年3月)に即して答えなさい。下記は、第2章 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標 の一部である。(①)～(③)に入る適切な語を、下記のア～カから1つずつ選び、記号を書きなさい。

(3) 話すこと [やり取り]

- ア 基本的な表現を用いて指示、(①)をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の(②)や気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて(③)で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

ア 考え イ 口頭 ウ 依頼 エ 経験 オ その場 カ 命令

- (2) 次の会話について、()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりするなどして、会話が成り立つように英語を完成させなさい。

<週明けに教室で>

A: Did you have a good weekend?

B: Yes. My brother and I went to Midori park.

(stay) there for two hours.

A: Nice! I'm glad you had a good time.

(小 9)

〔問10〕 次の問いに答えなさい。

「小学校プログラミング教育の手引（第三版）」（令和2年2月 文部科学省）に即して、次のア～エに当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

第2章 小学校プログラミング教育で育む力

(2) 小学校プログラミング教育で育む資質・能力

(略)

② 思考力, 判断力, 表現力等

(略)

【「プログラミング的思考」とは】

有識者会議「議論の取りまとめ」において「プログラミング的思考」は、「自分が（ア）する一連の活動を（イ）するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように（ウ）していけば、より（ア）した活動に近づくのか、といったことを（エ）」と説明されています。

(略)